

平成 26 年 10 月 2 日 21 時 00 分
中部地方整備局災害対策本部

御嶽山噴火対応状況(第9報)

国土交通省中部地方整備局は、9 月 27 日 11 時 52 分頃発生した御嶽山噴火に対し、9 月 27 日 12 時 36 分に災害対策本部を設置し、下記のとおり対応しています。TEC-FORCE 隊員(緊急災害対策派遣隊)を派遣し、警察・消防による捜索活動を支援しています。

1. 中部地方整備局の体制

9 月 27 日 12 時 36 分 警戒体制

9 月 27 日 14 時 45 分 非常体制 (詳細は別紙参照)

2. 河川等の状況

- (1) 国管理河川 被害情報なし
- (2) 県管理河川 被害情報なし
- (3) 御嶽山の状況 火口周辺警報(噴火警戒レベル 3、入山規制)

3. 道路の状況

- (1) 直轄国道関係
通行止めなし
- (2) 補助国道・地方道関係

① 長野県

	路線名	〈通行止め区間〉
1	(一般県道) 上松御岳線	木曽町三岳羽入～木曽町三岳(終点)
2	(木曽町道) 鹿ノ瀬線	木曽温泉～御岳ロープウェイ
3	(木曽町道) 屋敷野線	全線
	(木曽町道) 千本松線(上記重複路線)	全線
4	(木曽町道) 寒原倉越線	全線
5	(王滝村道) 4 1 号線	八海山～田の原

※全箇所緊急車両通行可、全箇所孤立無し

② 岐阜県

通行止めなし

4. 中部地方整備局の対応状況

(1) リエゾンの派遣

長野県庁	2人(延べ11人)	
長野県木曽地方事務所	0人(延べ4人)	9月30日17時撤収
岐阜県庁	0人(延べ7人)	9月30日17時撤収
岐阜県高山市	0人(延べ4人)	
岐阜県下呂市	0人(延べ4人)	
長野県木曽町	2人(延べ11人)	
長野県王滝村	2人(延べ12人)	

市町村からの要望聞き取り及び対応状況

- ・下呂市：負傷者搬送のため濁河温泉登山口の照明車の派遣要請（対応済）
- ・木曽町：町道の路面清掃の要望（対応済）
散水車派遣要請（ヘリポートの防塵のため）（対応済）
青峰高校（救助ヘリポート）への派遣（対応済）
- ・王滝村：役場へのCCTV設置要望（対応済）
照明車2台派遣、監視カメラ2台設置要請（対応済）
松原スポーツ公園（救助ヘリポート）への派遣（対応済）

(2) TEC-FORCEの派遣

○ 情報通信班(Ku-SAT)：王滝村役場	(1班1人(延べ1人日))	活動終了
濁沢川	(1班1人(延べ2人日))	活動終了
○ 情報通信班(衛星通信車)：八海山駐車場	(1班1人(延べ3人日))	活動終了
濁河温泉登山口	(1班1人(延べ2人日))	活動終了
八海山	(1班2人(延べ9人日))	
○ 被災状況調査班 (ヘリコプター)：	(1班2人(延べ7人日))	
(UAV)：	(1班1人(延べ2人日))	
○ 被災状況調査班：天竜川上流班	(1班3人(延べ3人日))	活動終了
越美砂防班	(1班2人(延べ2人日))	活動終了
富士砂防班	(1班2人(延べ2人日))	活動終了
多治見・本局班	(1班3人(延べ10人日))	
本局班	(1班2人(延べ2人日))	活動終了
天竜川上流班	(1班3人(延べ6人日))	
越美砂防班	(1班3人(延べ3人日))	
○ 応急対策班（道路降灰除去）：木曽町	(1班1人(延べ17人日))	
○ 応急対策班（照明車による救助活動の支援）：		
田の原	(1班1人(延べ2人日))	活動終了
開田口登山道入口	(1班1人(延べ2人日))	活動終了
濁河温泉登山口	(1班2人(延べ4人日))	活動終了
黒沢登山口	(1班2人(延べ4人日))	活動終了
濁沢川・八海山	(1班1人(延べ2人日))	活動終了
○ 応急対策班（捜索活動支援）：散水車	(1班1人(延べ2人日))	
○ 応急対策班（堰堤設置）	(1班2人(延べ2人日))	

(3) ヘリコプターによる概況調査、現地降灰状況調査

- ① ヘリコプターによる概況調査(9月27日 15:20~17:30)
 - 火口三箇所、山頂から約10kmの範囲で降灰を確認(1班3人(延べ3人日))
- ② 土砂災害防止法に基づく緊急調査(9月28日~) ※HP【御嶽山噴火のヘリ調査状況】参照
 - 土砂災害専門家(国土技術政策総合研究所・土木研究所)、気象庁、中部地方整備局がヘリコプターで降灰状況調査 9月28日(6:00~8:30、9:00~11:00、及び地上降灰状況調査を実施
 - 整備局職員による地上からの降灰状況調査
 - 天竜川上流事務所調査班(3人) 9月28日 開田口登山道
 - 越美砂防事務所調査班(2人) 9月28日 日和田登山口、胡桃島登山口
 - 富士砂防事務所調査班(2人) 9月28日 八海山(林道41号線)
- ③ ヘリコプターによる概況調査(9月29日 12:04~14:30)

(4) 災害対策車両等の派遣

- ① 照明車(登山口等の監視活動支援)

濁河温泉登山口	照明車 1台	9月27日	19:10 支援活動開始
		9月28日	12:45 に待機を解除し、撤収
開田登山口	照明車 1台	9月28日	1:50 照明活動開始
			15:45 に黒沢口登山口へ出発
黒沢登山口	照明車 1台	9月28日	9月29日 撤収
			0:35 照明活動開始
			6:10 に消灯、9月29日 撤収
田ノ原登山口	照明車 1台	9月27日	23:15 照明活動開始
		9月28日	17:00 撤収
	照明車 1台	9月28日	0:15 照明活動開始
			17:00 撤収
田ノ原登山口(八海山)	照明車 1台	9月29日	15:45 役場到着、現在活動中
濁沢川	照明車 1台	9月29日	15:45 役場到着、現在活動中
- ② 衛星通信車 1台(登山口等の監視活動支援)

濁河温泉登山口	衛星通信車 1台	9月28日	4:20 映像配信開始
			12:45 撤収
八海山駐車場	衛星通信車 1台	9月28日	1:30 映像配信開始
			17:00 撤収
王滝登山口	衛星通信車 1台	9月29日	20:20 映像配信開始
- ③ Ku-SAT II 2台(河川監視・登山口等の監視活動支援)

王滝村役場	Ku-SAT II 1台	9月28日	6:50 に受信開始
		9月30日	20:45 撤収
王滝村濁川	Ku-SAT II 1台	9月29日	20:20 送信開始
濁沢川	Ku-SAT II 1台	10月2日	12:30 送信開始

※Ku-SAT : 衛星通信回線を利用した映像伝送装置
- ④ 散水車 2台(救援活動の支援)

松原スポーツ公園	散水車 1台	9月30日	10:15 散水開始
青峰高校グラウンド	散水車 1台	9月30日	10:30 散水開始
		10月2日	15:00 撤収

(5) 道路降灰除去

長野県木曽町からの要請を受け、TEC-FORCE（道路班）として、飯田国道事務所2名、岐阜国道事務所1名を派遣し、木曽町道鹿ノ瀬線他の降灰除去作業を実施済。

9月27日 木曽町道鹿ノ瀬線降灰除去作業開始

9月28日 作業完了

開田高原保健休養地内の町道の降灰除去作業開始

作業完了

9月29日 路面清掃車2台(岐阜国道事務所1台、静岡国道事務所1台)

散水車3台、ダンプトラック1台を配備

9月30日 路面清掃車2台(岐阜国道事務所1台、静岡国道事務所1台)

散水車1台(飯田国道事務所1台)を配備

TEC-FORCE(道路班)として、飯田国道事務所(2名)、静岡国道事務所(1名)を派遣

10月1日 路面清掃車1台、散水車1台を配備(木曽維持出張所で待機)

TEC-FORCE(道路班)として、飯田国道事務所(1名)を派遣

10月2日 10月1日より継続して配備・派遣中

(6) 応急対策の支援

火山灰泥流による氾濫被害が予測された場合の、導流堤、土のう積み等の応急対策の支援に備え、近傍事務所(多治見砂防国道、木曽川上流、天竜川上流)にブロック約5,200個、大型土のう約1,300袋を準備。

(7) 二次災害防止に向けた取り組み

降灰があった流域では、通常より少ない降雨で土石流が発生する可能性があることから、土石流による二次災害の防止に向け次の対策を実施。

○監視体制の構築

・監視カメラとワイヤーセンサーを設置するための現地調査を実施済み

・監視カメラとワイヤーセンサーを濁沢川、湯川、冷川、鹿ノ瀬川、白川に順次設置中

○応急対策用資材の準備

・災害等に備えて応急対策を支援するための資材を準備

○砂防堰堤の設置

・新たな噴火及び今後の降雨に伴う土石流などの二次災害に対処するため、流域に火山灰が体積した溪流のうち、砂防堰堤が設置されていない鹿ノ瀬川にコンクリートブロック積み砂防堰堤1基を、緊急的に設置する。

・10月2日より鹿ノ瀬川にコンクリートブロック積み砂防堰堤1基設置の為の測量着手

【監視カメラの設置作業状況】

10月2日(木)



(8) 水質監視

牧尾ダムにおいて噴火翌日の9月28日に流入水の白濁と、貯水池上流端での噴火物の沈降堆積を確認。取水塔地点の水質に変化はないものの、牧尾ダムへの流入水についてはpHが昨年の平均値に較べ低下（酸性化）。

このため、水資源機構牧尾ダムでは、水質調査（pH）を行うとともに、貯水池及び大滝川上流域の巡視を行い、監視を強化。なお、魚類等、生物への影響は確認されていない。

加えて、木曽川水系水質保全連絡協議会の各機関が牧尾ダム下流の水質監視を行い、情報共有等を図っている。

(9) その他

航空、自動車関係の被害情報なし。

【本記者発表に関するお問い合わせ先】

国土交通省中部地方整備局 災害対策本部

広報担当 TEL 052-953-8256

別紙

10月2日 16時00分時点

中部地方整備局の体制状況一覧

本部・支部名	体制						体制人員
	注意	警戒	非常	警戒	注意	解除	
災害対策本部		9/27 12:36	9/27 14:45				43名
総務部		9/27 16:00					2名
河川部			9/27 14:45				15名
道路部		9/27 14:45					6名
建政部							
港湾空港部	9/27 16:15						2名
用地部	9/27 18:15						1名
営繕部	9/27 16:00						1名
多治見砂防国道事務所(道路)							
多治見砂防国道事務所(河川)		9/27 12:45					5名
木曽川上流河川事務所(ダム)							
木曽川上流河川事務所(河川)							
越美砂防事務所							
新丸山ダム工事事務所							
岐阜国道事務所	9/27 16:30					9/29 15:30	
高山国道事務所		9/27 12:36			9/28 20:00		5名
沼津河川国道事務所((河)							
沼津河川国道事務所(道)							
浜松河川国道事務所(河)							
浜松河川国道事務所(道)							
浜松河川国道事務所(ダ)							
静岡河川事務所							
富士砂防事務所							
静岡国道事務所							
庄内川河川事務所							
豊橋河川事務所							
設楽ダム工事事務所							
名古屋国道事務所							
愛知国道事務所							
名四国道事務所							
三重河川国道事務所(河川)							
三重河川国道事務所(道路)							
木曽川下流河川事務所							
紀勢国道事務所							
北勢国道事務所							
天竜川上流河川事務所							
三峰川総合開発工事事務所							
飯田国道事務所		9/27 14:45					17名
天竜川ダム統合管理事務所							
丸山ダム管理所							
長島ダム管理所							
矢作ダム管理所							
蓮ダム管理所							
中部技術事務所		9/27 17:00				9/28 18:50	
〃		9/29 12:00					4名
静岡営繕事務所							
清水港湾							
名古屋港湾							
三河港湾							
四日市港湾							
名古屋港湾空港技術調査							

体制人員合計 101名